

- ⑥ 享保の改革では、財政の立て直しははかられたほか、裁判の基準となる（**公事方御定書**）が定められたり目安箱が設けられたりした。
- ⑦ 田沼意次は商工業者に（**株仲間**）をつくらせて税をとった。
- ⑧ 寛政の改革では、百姓の都市人の（**紙かせぎ**）を制限したり、旗本や御家人の借金を巾長消しにしたりした。
- ⑨ 農村では、貧富の差が広がり、土地を手ばなして小作人となる百姓がいる一方、土地を集めて（**地主**）になる者も現れた。
- ⑩ 地主などが百姓に糸織機や前金をわたして布を糸織らせる（**問屋制家内**）工業が始められ、これが突進して工場制手工業となった。
- ⑪ 農村では団結して領主に年貢軽減などを要求する（**百姓一揆**）がおこり、者買市では買いしめを行う商人への（**打ちこわし**）がおこった。
- ⑫ 徳川吉宗がキリスト教に関係のない漢訳の洋書の輸入を認めると、ヨーロッパの学問を研究する（**蘭学**）が突進した。
- ⑬ （**伊能忠敬**）は全国の海岸線を測量し、正確な日本地図を作成した。
- ⑭ エドを中心の民衆文化が突進したころ、葛飾北斎や（**歌川広重**）の風景画が錦絵で出版され、人々の人気を集めた。
- ⑮ 民衆に読み、書き、そろばんを教える（**寺子屋**）が各地に開かれた。